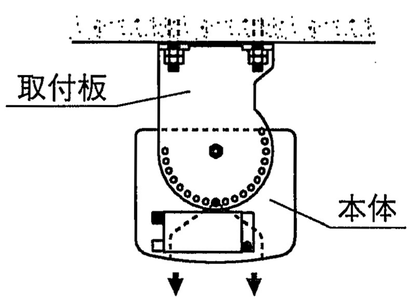
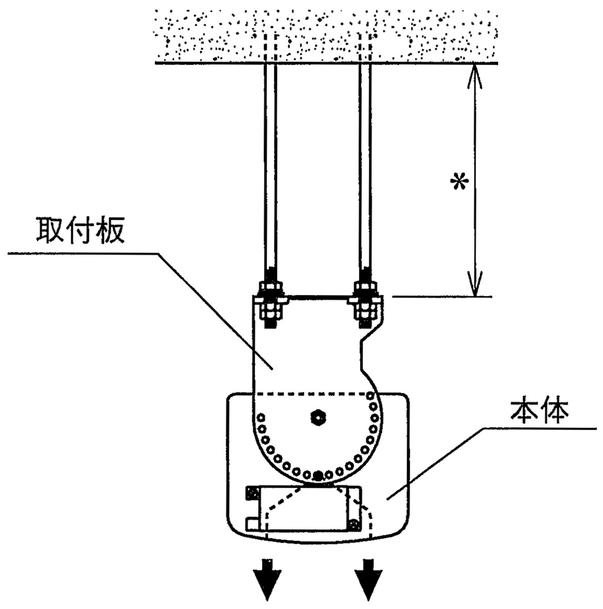
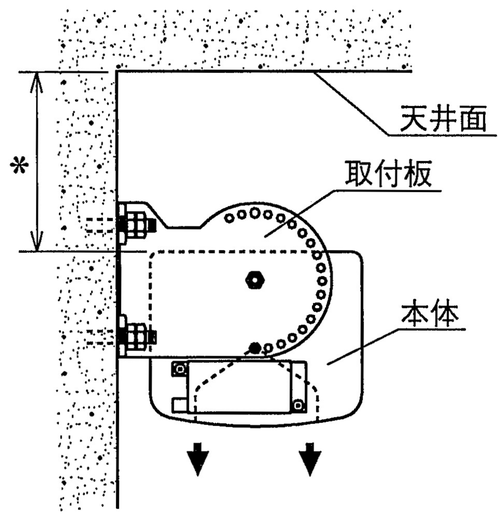
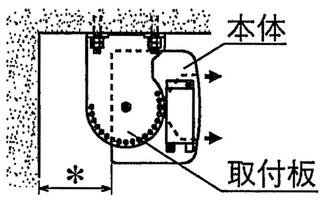
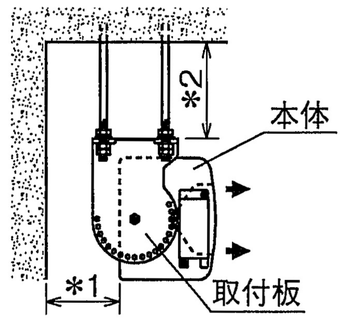
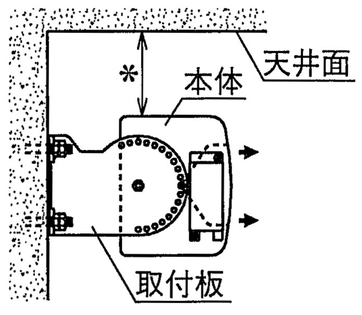
# エアー搬送ファンご使用上の注意事項

① この商品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また日本国外ではアフターサービスもできません。
② 特性・仕様の詳細については、各商品の納入仕様書にてご確認ください。
③ エアー搬送ファンは屋内用です。
④ エアー搬送ファンは高所取付用です。床上 1.8 m以上のところに据付けてください。低い所に据付けられますと、けが・事故の原因となることがあります。また、床面から1.8m 以上の据付けであっても、作業・活動等により人体に触れる可能性がある場合は、より安全のため人体が触れない高さへの据付けをお願いします。
⑤ 使用周囲温度・湿度は必ずお守りください。各ページに記載されている範囲を超えますと、焼損、変形、回転不良、破損につながるおそれがあります。また、次のような場所には据付けないでください。
・屋外　・塩害地域（耐熱・耐湿、耐塩害用は除く）　・冷蔵庫、冷凍室など結氷するおそれのある場所（冷凍室タイプは除く）　・酸性、アルカリ性ガスの発生、流入する場所　・可燃性ガスの発生、流入、滞留、漏れのある場所　・油煙や蒸気の多い場所（オイルミスト対応タイプは、オイルミスト濃度 3mg/m³ 以下、耐熱・耐湿・耐塩害用は、40℃において相対湿度 98%以下で使用可能。）　・繊維工場、製陶工場など多量の綿埃や砂塵、粉塵の発生する場所（耐熱・防塵タイプのモータ及び充電部の固形異物に対する保護等級は、JIS C 4034-5 に定める IP5X 相当（防じん形）です。）
⑥ 商品本体にシリコーンを使用している機種が一部あり、周囲環境に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
⑦ エアー搬送ファンの吹出気流が他の機器等に悪影響（照明器具を揺らす等）を及ぼすような位置にエアー搬送ファンを据付けないでください。
⑧ 商品の改造はしないでください。故障の原因となるおそれがあります。
⑨ エアー搬送ファンを壁近辺に据付ける場合は、吸込寸法を確保してください。（下記据付け例、水平吹出の場合参照）
⑩ 本体の据付工事は、振動のない十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。
⑪ 吊りボルトは、耐震用振れ止め支持部材にて必ず補強を行ってください。
⑫ エアー搬送ファンの標準タイプ、速度調節タイプ、冷凍室タイプ、耐熱・耐湿・耐塩害用、耐熱・防塵タイプ、オイルミスト対応タイプについては、取付板の内側据付も可能です。ただし、標準タイプ、速度調節タイプ、冷凍室タイプ、オイルミスト対応タイプに限っては左右の取付板を入れ替えて据付けてください。
⑬ 商品を横に連続して据付ける場合は、取付板の間隔を 100mm 以上あけてください。3 方向吹出しタイプは水平方向の角度調整を行える空間をあけてください。
⑭ 3方向吹出しタイプ、風向切替タイプ、オイルミスト対応タイプは壁据付けができません。
⑮ 漏電ブレーカを設置してください。火災・感電のおそれがあります。
⑯ モータの焼損防止のため、過負荷保護装置（モータブレーカ又は電磁開閉器（電磁接触器＋サーマルリレー（過負荷・欠相保護形）））を設置してください。過負荷保護装置は必ず機器 1 台ごとに取り付けてください。過負荷保護装置の選定は電流値の 1.2 倍を目安にしてください。ただし、商品本体に過負荷保護装置の定格表示のあるものは、表示内容に従い過負荷保護装置を設置してください。
⑰ インテリアタイプを除く商品には、安全装置として、モータに温度ヒューズが内蔵されています
拘束、過負荷運転、欠相運転、異電圧印加、あるいは周囲温度が基準以上に高い場合には上記安全装置が自動的に動作し回転が止まることがありますので電源を切り原因を取り除いてください。（再運転の場合には、モータを交換してください。）
⑱ アース端子、アース線のある機種はD種接地工事を実施してください。感電のおそれがあります。
⑲ 電気工事は必ず有資格者である電気工事士が内線規程や電気設備技術基準に従って行ってください。電源コード接続仕様の機種は、絶対に「手より接続」はしないでください。また、電源電線の結線部分は JIS C 8340 の「電線管用金属製ボックス及びボックスカバー」内にて行ってください。
⑳ 電源接続を間違えますと正常な運転ができなくなり、場合によってはモータが焼損する等のおそれがあります。スイッチ・プラグ等への接続は確実に実施してください。
㉑ 雨垂れのおそれのある所では建物側に防水処理をしてご使用ください。
㉒ 修理等で特別な足場が必要になる場合は、お客様の費用負担となります。あらかじめご了承ください。
㉓ エアー搬送ファン吹出口前方にダクト等の気流の障害となるものがある場合は、それを避けるように据付けた高さや位置を調整して据付けてください。
㉔ ご使用前・ご使用中に異常がないか確認してください。異常がある場合は使用を中止してください。長年ご使用の送風機ではモータ、コード、コンデンサ等の電気部品の経年劣化により発煙・発火に至る恐れがあります。
㉕ 風向切替タイプのコントローラで表示する角度は目安ですので5°程度はずれが生じる事があります。
㉖ 冷凍室タイプは1日50回以上のひんぱんな起動・停止を伴う使用は、刃ね及びモータ破損等の原因となりますので避けてください。
㉗ 冷凍室タイプは庫内の扉付近や冷却装置の吹出口付近などには据付けないでください。羽やガードに霜や氷が付着すると送付性能の低下、回転不良、変形、破損につながるおそれがありますので、霜取りを実施してください。
㉘ オイルミスト対応タイプは、商品本体の水平度が±1°以内になるように据付けてください。

## ■据付例

| | 天井直据付の場合 | 天吊据付の場合 | 壁据付の場合 |
|---|---|---|---|
| 垂直吹出の場合 | ●冷凍室タイプの場合　風方向は水平面に対して−22.5～56.3°の範囲で使用可<br>※67.5 ～ 90°の角度調節をする場合は取付面と取付板の間に 75mm 以上の空間をあけてください。<br>  <br> | ＊ 900mm を超える場合はさらに防振対策を施してください。<br>＊オイルミスト対応タイプは天吊据付の垂直吹出はできません。<br>  <br> | ＊M3177AF-3009TA-RGMは150mm以上<br>  <br> |
| 水平吹出の場合 | ＊ M3177AF-3009TA-RGMは150mm以上<br>  <br> | ＊1 M3177AF-3009TA-RGMは150mm以上<br>＊2 900mmを超える場合はさらに防振対策を施してください。<br>  <br> | ＊M3177AF-3009TA-RGMは壁据付の場合は水平吹出できません。<br>  <br> |

### 天井据付・コンクリート壁の場合

①強固な天井面、または壁面に埋込ボルトを埋込みます。
②埋込ボルトに取付板を通し、市販のワッシャー、ナットを使用して確実に据付けます。

### 天吊据付の場合

①強固な天井面に、長さ 900mm を超えないように天吊りボルトを埋込みます。
・天吊りボルトは耐震用振れ止め支持部材にて必ず補強を行ってください。
・長さ 900mm を超える場合は、さらに防振吊金具等による防振対策を施してください。
②天吊りボルトに取付板を通し、市販のワッシャー、ナットを使用して確実に据付けます。